

視覚障害者

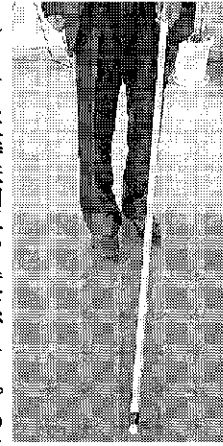
杖が色識別、誘導

TNKと電通大 先端にセンサー

【多摩】電子機器製造

のTNK（東京都日の出町、田中信之社長、042・597・6578）

は電気通信大学の長井隆行助教と共同で、視覚障害者や高齢者を建物内の目的地に誘導する色識別誘導システム「マイ・ケーン」（商品名）を開発した。病院、ホテル・旅館、銀行、官公庁向けに需要を開拓する。



センサーがテープの色を識別して振動を伝える

システムは特殊加工したセンサーを先端に組み込んだ長さ百二十センチ、直径十九センチの白杖（つえ）を持ち、建物内などに施工したラインテープをたどる仕組み。赤、青、黄などテープの色を識別して杖が振動を伝え、正確なルート、目的地に誘導する。テープは五色に分けることで、五方所に誘導できる。杖は先端の色識別セン

サーに特殊なフィルターを装着して太陽光から紫外線などを排除し可視光線だけを識別、太陽光でも蛍光灯などの屋内でもテープの色を正確に識別することを可能にした。白色発光ダイオードを付けて夜間でも数センチ離れたテープの色を誤作動なく識別。内蔵のマイクロモーターを稼働させ振動を起す。

受注、見積もり方式で販売、杖二本とテープ三色、延べ五十センチを施工する標準システムで約六十万円、杖一本の価格は五万円という。